



2025年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日
東

上場会社名 株式会社オークファン 上場取引所
 コード番号 3674 URL <https://aucfan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武永 修一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 杉山 真二郎 (TEL) 03-6809-0951
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期第3四半期の連結業績(2024年10月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期第3四半期	3,544	△2.3	29	△89.7	50	△83.7	△31	—
2024年9月期第3四半期	3,626	△10.4	286	△20.2	311	△18.9	210	310.8

(注) 包括利益 2025年9月期第3四半期 △98百万円(—%) 2024年9月期第3四半期 △97百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期第3四半期	△3.07	—
2024年9月期第3四半期	20.41	—

(注) 2024年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、2025年9月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年9月期第3四半期	7,301	4,385	60.1
2024年9月期	7,692	4,408	57.3

(参考) 自己資本 2025年9月期第3四半期 4,385百万円 2024年9月期 4,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2025年9月期	—	0.00	—	—	—
2025年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年9月期の連結業績予想(2024年10月1日~2025年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	△7.0	△190	—	△170	—	△360	—	△34.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年9月期3Q	10,813,700株	2024年9月期	10,813,700株
2025年9月期3Q	292,016株	2024年9月期	491,990株
2025年9月期3Q	10,418,341株	2024年9月期3Q	10,321,710株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信開示後速やかにTDnet及び当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	4
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益及び包括利益計算書	7
（第3四半期連結累計期間）	7
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	8
（会計方針の変更）	8
（セグメント情報等）	9
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	10
（重要な後発事象）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

近年における国内のBtoB卸売市場は300兆円規模と推定（※1）されており、非常に大きな市場にも関わらずEC化率はいまだ37.5%（EDI（※2）による取引を含む）と、オンライン化されていないBtoB市場は約200兆円あると考えられます。また、海外市場に目を向けると、BtoB卸売市場規模は数千兆円以上と想定されます。

オークファングループはこの課題に真正面から向き合い解決すべく、コーポレートアイデンティティを「RE-INFRA COMPANY」と定義し、社会の様々な「RE」を統合した唯一無二の流通インフラを構築し、流通市場のDX化に取り組んでおります。

当社グループは、当社グループの各サービスを利用していただくSmallB（個人事業主）・副業・インフルエンサーのお客様をAppreciator（アプリシエイター）と定義しております。Appreciateは「真価を認める、感謝する、面白く味わう、価値が上がる、買う」などの意味を持ちます。当社が定義するAppreciatorとは「真価を見出し、価値に感謝できる人」と考えており、Appreciatorの皆様が活躍できる社会の実現を目指し事業を推進しております。

具体的には、創業来培った700億件を超える売買データとAI技術により商品の時価を可視化、価格と販路を最適化するソリューション事業、Appreciator（SmallB（個人事業主）・副業・インフルエンサー）を中心とした小売・流通業向けに流通を支援するプラットフォーム事業、投資事業及び新規事業に取り組むインキュベーション事業を展開しております。

2022年9月期からは、中長期的な事業拡大を見据え、海外BtoB卸売市場への展開が不可欠であると認識し、中国海南省に連結子会社「傲可凡(海南)网络科技有限公司」を設立しました。この子会社を通じて、人口14億人以上の中国バイヤーをはじめ、世界各国への流通インフラ構築に向けた海外向けサービス展開に着手しています。今期も前期に引き続き、成長戦略を海外市場にシフトさせ、既存の国内事業での継続的成長を目指すとともに、海外事業に積極的に投資しています。

※1 経済産業省2024年9月25日発表 電子商取引に関する市場調査、BtoB-EC市場規模の業種別内訳より推察

※2 電子的データ交換（Electronic Data Interchange）の略称。受注や発注、出荷や納品などの流通に関わる一連の取引を電子データでやりとりする仕組み

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は3,544,790千円（前年同四半期比2.3%減）、営業利益は29,610千円（前年同四半期比89.7%減）、経常利益は50,805千円（前年同四半期比83.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は31,974千円（前年同四半期は210,706千円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(ソリューション事業)

当セグメントは、当社が保有するデータとAI技術を活用し、商品の価値を可視化・最適化することで、ECや副業に取り組むAppreciator (SmallB・個人事業主・インフルエンサーなど) を支援するソリューションサービスを提供しております。主なサービスとしては当社が保有する流通相場データを活用した『aucfan.com (オークファンドットコム)』となり、主たる収益源は有料課金収入及びネット広告収入となります。その他、EC事業者向けマーケティング支援サービス『aucfan marketing (オークファンマーケティング)』、ネットショップ一元管理サービス『タテンポガイド』、専門知識がなくても直感的に操作できるRPAツール『オークファンロボ』、副業・複業として物販ビジネスを行なう事業主を対象とするスクール形式の副業支援サービス『good sellers (グッドセラーズ)』、Amazonセラー専用アプリ『Amacode (アマコード)』等を提供しています。

当第3四半期連結累計期間においては、aucfan.com (オークファンドットコム) で2024年7月に実施した会員機能強化に伴う価格改定により、課金売上が好調に推移しました。また、aucfan marketing (オークファンマーケティング) においても広告運用サービス売上が好調に推移しました。一方、Amacode (アマコード) については収益性の改善が見込めない状況が続いたことから、事業の効率化及び収益構造の健全化を目的に、当該サービスを第三者へ譲渡し、2025年2月をもって事業から撤退いたしました。

これらの結果、売上高2,176,973千円(前年同四半期比12.8%増)、営業利益481,259千円(前年同四半期比27.0%増)となりました。

(プラットフォーム事業)

当セグメントは、商品供給力を強みに、海外及び国内の双方において商品流通支援サービスを提供しており、オンライン及びオフラインにて複数のマーケットプレイスを運営しております。主なサービスとしては、BtoB卸モール『NETSEA (ネッシー)』、滞留在庫・返品・型落ち品などの流動化支援を行う『NETSEAオークション (旧 ReValueBtoBモール)』、オフラインの展示・商談会事業『OSR (オーエスアール) 展示商談会』、中国生産商品のOEM自社ブランド展開『APLAB (エーピーラボ)』等がございます。主たる収益源は、NETSEAでは流通手数料収入及び有料課金収入、NETSEAオークション並びにAPLABでは商品販売収入、OSRでは決済手数料収入及び出店料となります。

当第3四半期連結累計期間においては、NETSEAオークションにて大手サプライヤーの返品商品の取り扱いが減少したことにより売上高が減少しました。一方、海外事業のマーケティングとして取り組んでいるOEM自社ブランド展開「APLAB (エーピーラボ)」が順調に立ち上がり、売上の創出が始まっております。APLABについては、商品販売開始時に一定の初期コストが発生することから、販売費及び一般管理費が増加しております。加えて、新規施策として取り組んでいるライブコマース関連サービスにおいても、TikTokShopサービスの開始が2025年6月末であったことから、先行して費用が発生する形となりました。

なお、NETSEAオークションについては、収益性及び市場環境を総合的に勘案した結果、今後の成長が見込めないと判断し、成長戦略領域への事業資源集中を目的として、2025年3月をもってサービスを終了いたしました。

これらの結果、売上高1,215,764千円(前年同四半期比4.3%減)、営業損失502千円(前年同四半期は83,986千円の営業利益)となりました。

(インキュベーション事業)

当セグメントは、事業投資及び投資先企業の支援を通じて、当社が中長期にわたり競合優位性を構築・維持していくための知見とネットワークを得ることを目的とした事業セグメントであります。主たる収益源は、営業投資有価証券の売却益・配当収益、投資先企業へのコンサルティング収益となります。なお、当セグメントでは将来成長の基盤となる海外事業等の新規事業開発等も実施しております。

当第3四半期連結累計期間においては、営業投資有価証券の売却収入等がありましたが、前年同期水準の収益額には至りませんでした。

これらの結果、売上高292,561千円(前年同四半期比42.3%減)、営業損失153,835千円(前年同四半期は132,269千円の営業利益)となりました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、7,301,238千円（前連結会計年度末は7,692,978千円）となりました。

流動資産は、6,379,882千円（前連結会計年度末は6,805,834千円）となりました。主な要因といたしましては、商品が72,321千円増加したものの、現金及び預金が314,290千円減少、営業投資有価証券が137,938千円減少、売掛金が65,309千円減少した結果であります。

固定資産は、921,356千円（前連結会計年度末は887,144千円）となりました。主な要因といたしましては、ソフトウェアが72,136千円減少したものの、その他（投資その他の資産）が67,269千円増加、ソフトウェア仮勘定が55,247千円増加した結果であります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、2,915,875千円（前連結会計年度末は3,284,732千円）となりました。

流動負債は、2,870,826千円（前連結会計年度末は3,181,146千円）となりました。主な要因といたしましては、未払金が119,525千円増加したものの、短期借入金が260,000千円減少、1年内返済予定の長期借入金が94,968千円減少、未払法人税等が93,060千円減少した結果であります。

固定負債は、45,048千円（前連結会計年度末は103,585千円）となりました。主な要因といたしましては、長期借入金が61,122千円減少した結果であります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、4,385,363千円（前連結会計年度末は4,408,246千円）となりました。主な要因といたしましては、自己株式が155,175千円減少したものの、その他有価証券評価差額金が68,665千円減少、資本剰余金が79,238千円減少、利益剰余金が31,974千円減少した結果であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年11月14日に公表いたしました連結業績予想につきましては、足元の業績動向及び新規事業への先行投資状況を踏まえ、見直しを行いました。詳細につきましては、本日（2025年8月14日）公表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき合理的と判断される見通しをもとに作成したものであり、今後の市場環境や事業進捗により変更が生じる可能性があります。その際は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,497,678	4,183,387
売掛金	476,148	410,838
営業投資有価証券	1,092,382	954,443
商品	15,942	88,264
貯蔵品	2,414	2,618
未収入金	574,129	593,477
その他	219,597	222,284
貸倒引当金	△72,460	△75,433
流動資産合計	6,805,834	6,379,882
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	70,310	64,509
工具、器具及び備品(純額)	36,501	41,034
その他(純額)	2,033	1,617
有形固定資産合計	108,845	107,161
無形固定資産		
のれん	4,972	1,989
ソフトウェア	418,820	346,684
ソフトウェア仮勘定	11,020	66,268
その他	1,195	996
無形固定資産合計	436,009	415,938
投資その他の資産		
長期貸付金	4,152	—
繰延税金資産	146,752	139,433
破産更生債権等	298,303	298,303
長期未収入金	312,147	285,316
その他	191,384	258,654
貸倒引当金	△610,450	△583,450
投資その他の資産合計	342,288	398,256
固定資産合計	887,144	921,356
資産合計	7,692,978	7,301,238

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,550	140,388
短期借入金	1,500,000	1,240,000
1年内返済予定の長期借入金	96,674	1,706
未払法人税等	99,807	6,746
未払金	1,199,190	1,318,715
契約負債	99,491	76,603
賞与引当金	3,600	850
株主優待引当金	18,000	—
その他	112,832	85,816
流動負債合計	3,181,146	2,870,826
固定負債		
長期借入金	61,122	—
その他	42,463	45,048
固定負債合計	103,585	45,048
負債合計	3,284,732	2,915,875
純資産の部		
株主資本		
資本金	973,683	973,683
資本剰余金	919,089	839,851
利益剰余金	2,569,041	2,537,067
自己株式	△340,055	△184,880
株主資本合計	4,121,759	4,165,722
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	286,574	217,908
為替換算調整勘定	△87	1,732
その他の包括利益累計額合計	286,486	219,640
純資産合計	4,408,246	4,385,363
負債純資産合計	7,692,978	7,301,238

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
売上高	3,626,855	3,544,790
売上原価	1,589,373	1,815,862
売上総利益	2,037,482	1,728,927
販売費及び一般管理費	1,750,996	1,699,316
営業利益	286,485	29,610
営業外収益		
受取利息	296	2,485
為替差益	20,594	21,156
受取手数料	438	—
貸倒引当金戻入額	4,685	—
営業債務消滅益	—	6,156
その他	7,070	5,035
営業外収益合計	33,086	34,832
営業外費用		
支払利息	5,233	10,164
控除対象外消費税等	167	—
その他	3,003	3,473
営業外費用合計	8,403	13,638
経常利益	311,167	50,805
特別利益		
新株予約権戻入益	2,894	—
受取保険金	10,000	—
その他	—	0
特別利益合計	12,894	0
特別損失		
固定資産除却損	230	—
事業撤退損	—	14,208
その他	—	146
特別損失合計	230	14,355
税金等調整前四半期純利益	323,831	36,449
法人税、住民税及び事業税	81,936	26,423
法人税等調整額	55,414	42,000
法人税等合計	137,351	68,424
四半期純利益又は四半期純損失(△)	186,480	△31,974
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	210,706	△31,974
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△24,226	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△283,405	△68,665
為替換算調整勘定	△109	1,819
その他の包括利益合計	△283,514	△66,846
四半期包括利益	△97,033	△98,820
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△72,807	△98,820
非支配株主に係る四半期包括利益	△24,226	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2024年11月14日付の会社法第370条及び当社定款に基づく取締役会決議に代わる書面決議に基づき、自己株式100,000株の取得を行いました。この取得及び単元未満株式の買取りによる増加を含め、当第3四半期連結累計期間において自己株式が34,766千円増加いたしました。

また、2024年12月24日付の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式300,000株の処分を行いました。この処分により当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が81,342千円減少し、自己株式が189,942千円減少いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における資本剰余金は839,851千円、自己株式は184,880千円となっております。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	ソリュー ション	プラット フォーム	インキュ ベーション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,879,159	1,240,327	507,368	3,626,855	—	3,626,855
セグメント間の内部売上高又は 振替高	50,195	30,131	—	80,326	△80,326	—
計	1,929,354	1,270,459	507,368	3,707,182	△80,326	3,626,855
セグメント利益	378,818	83,986	132,269	595,075	△308,590	286,485

(注) 1. セグメント利益の調整額△308,590千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない
全社費用が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来「在庫価値ソリューション」としていた報告セグメントの名称を「ソリューション」、「商品流通プラットフォーム」としていた報告セグメントの名称を「プラットフォーム」に変更しております。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 及び包括利益 計算書計上額 (注) 2
	ソリュー ション	プラット フォーム	インキュ ベーション	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,097,547	1,193,655	253,587	3,544,790	—	3,544,790
セグメント間の内部売上高又は 振替高	79,425	22,109	38,973	140,508	△140,508	—
計	2,176,973	1,215,764	292,561	3,685,298	△140,508	3,544,790
セグメント利益又は損失(△)	481,259	△502	△153,835	326,921	△297,310	29,610

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△297,310千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに
配分していない全社費用が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	173,584千円	196,707千円
のれんの償却額	2,983千円	2,983千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。